

\*\* 2010年10月改訂(第4版)

\* 2007年10月改訂

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)3863
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法	できるだけ湿気を避け、直射日光のあたらない涼しい場所に保管のこと。開封後は特に湿気を避け、フタをよく閉める等取扱いに注意のこと。
----	--

使用期限：外箱・容器に表示

## 漢方製剤（人參湯）

# 太虎堂の人參湯エキス顆粒

### 〔禁忌（次の患者には投与しないこと）〕

- (1)アルドステロン症の患者
  - (2)ミオパシーのある患者
  - (3)低カリウム血症のある患者
- 〔(1)～(3)：これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。〕

### \*〔組成・性状〕

本品7.5g中

日局ニンジン……………3.0g 日局ビャクジュツ……………3.0g  
日局カンゾウ……………3.0g 日局カンキョウ……………3.0g  
上記生薬より抽出した水製乾燥エキス3560mgを含有する。  
添加物として日局乳糖水和物、日局ステアリン酸マグネシウムを含有する。

性状：本品は淡茶色～灰褐色の顆粒剤で、特異なにおいがあり、味はわずかに甘苦い。

識別コード：Tai TM-32

### 〔効能・効果〕

手足などが冷えやすく、尿量が多いものの次の諸症：胃腸虚弱、胃アトニー、下痢、嘔吐、胃痛

### 〔用法・用量〕

通常成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 〔使用上の注意〕

#### 1. 重要な基本的注意

(1)本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を

考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

#### 2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。 〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸及び利尿剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。
(2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤		
(3)ループ系利尿剤 フロセミド エタクリン酸		
(4)チアジド系利尿剤 トリクロルメチアジド		

#### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

##### (1)重大な副作用

- 1)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 2)ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

## (2)その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹、蕁麻疹等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

### 4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

### 5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

## \*〔包装〕

500g、2.5g×84包、2.5g×252包

## \*\*〔文献請求先〕

太虎精堂製薬株式会社 薬事情報部  
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通2丁目1番27号  
TEL (078) 232-1015 FAX (078) 232-1077